

金鯧メディネット 意見交換会

平成31年2月25日（月）13時30分～

独立行政法人 国立病院機構

名古屋医療センター

地域医療連携室

金鯧メディネット事務局

目次

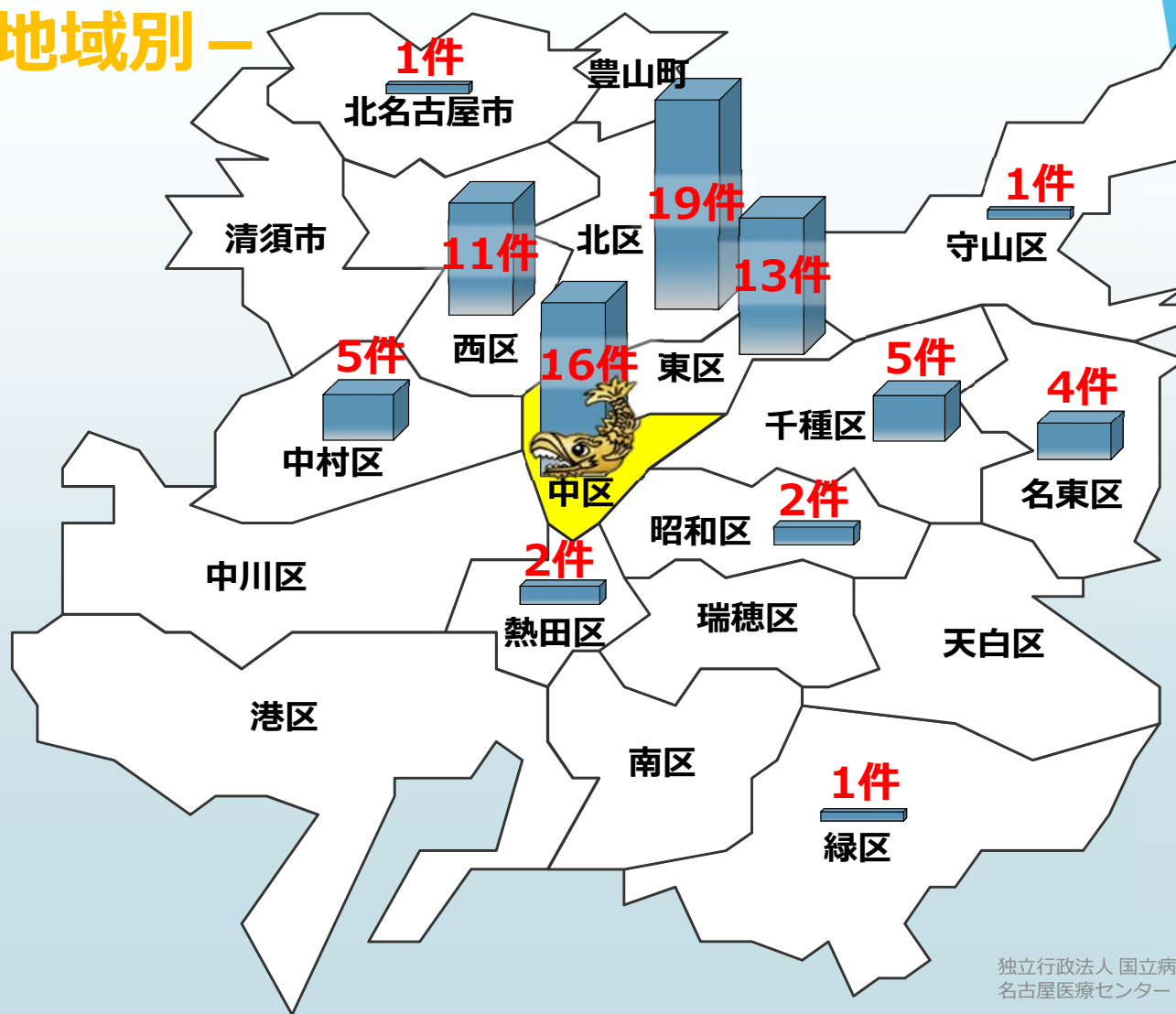
- ▶ 1. 運用報告
- ▶ 2. 金鯧メディネット効果
- ▶ 3. 運用に関するお知らせ

1. 運用報告

加入状況 — 地域別 —

平成31年1月末

- 加入施設数：80
- ユーザー数：173
- アクティブ：105



加入状況 －施設別－

平成31年1月末

診療所数：50

病院数：14

訪問看護：4

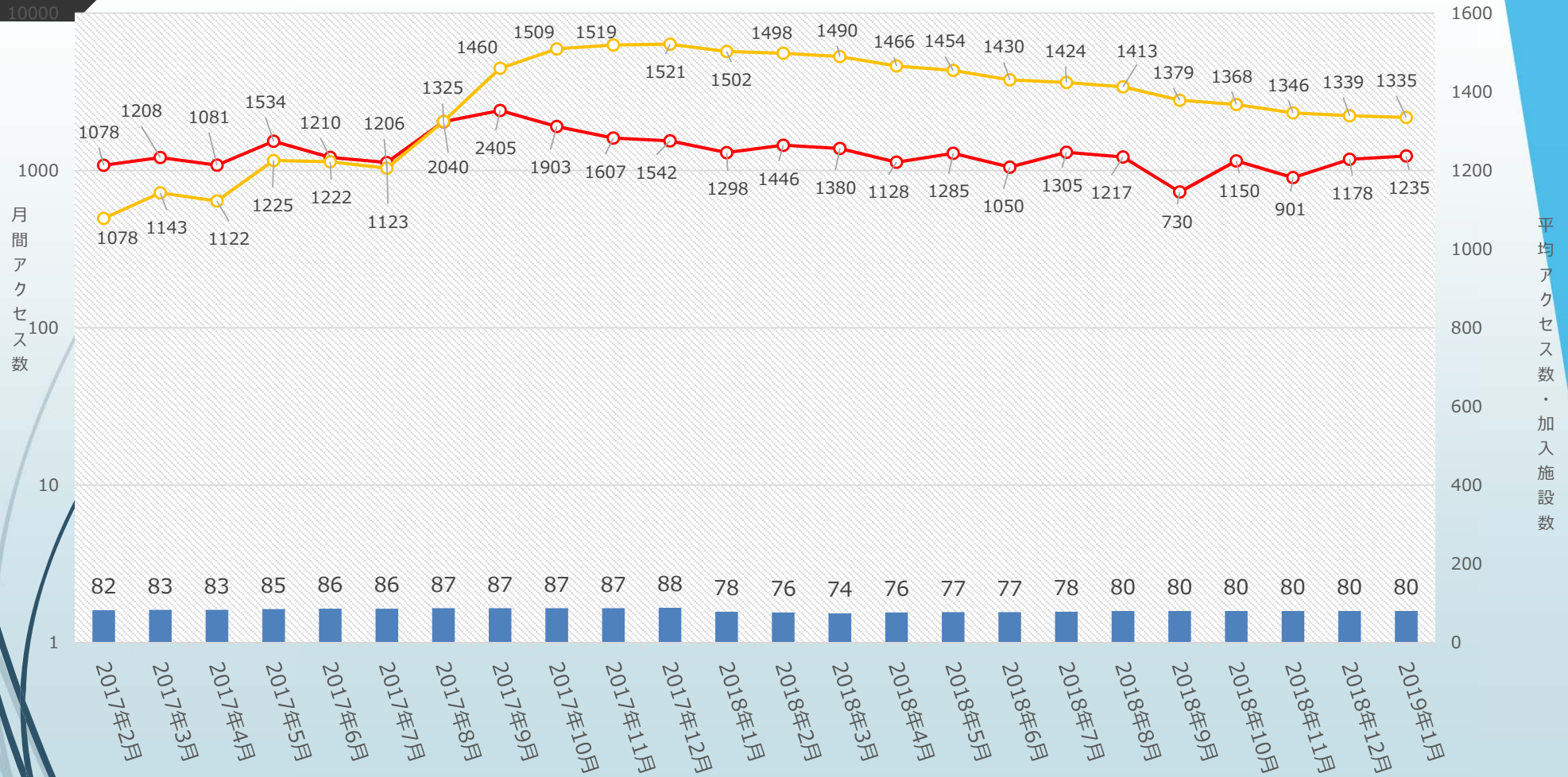
薬局：12

アクセス数の推移

▶ 期間：2017年2月～2019年1月（直近24ヶ月）

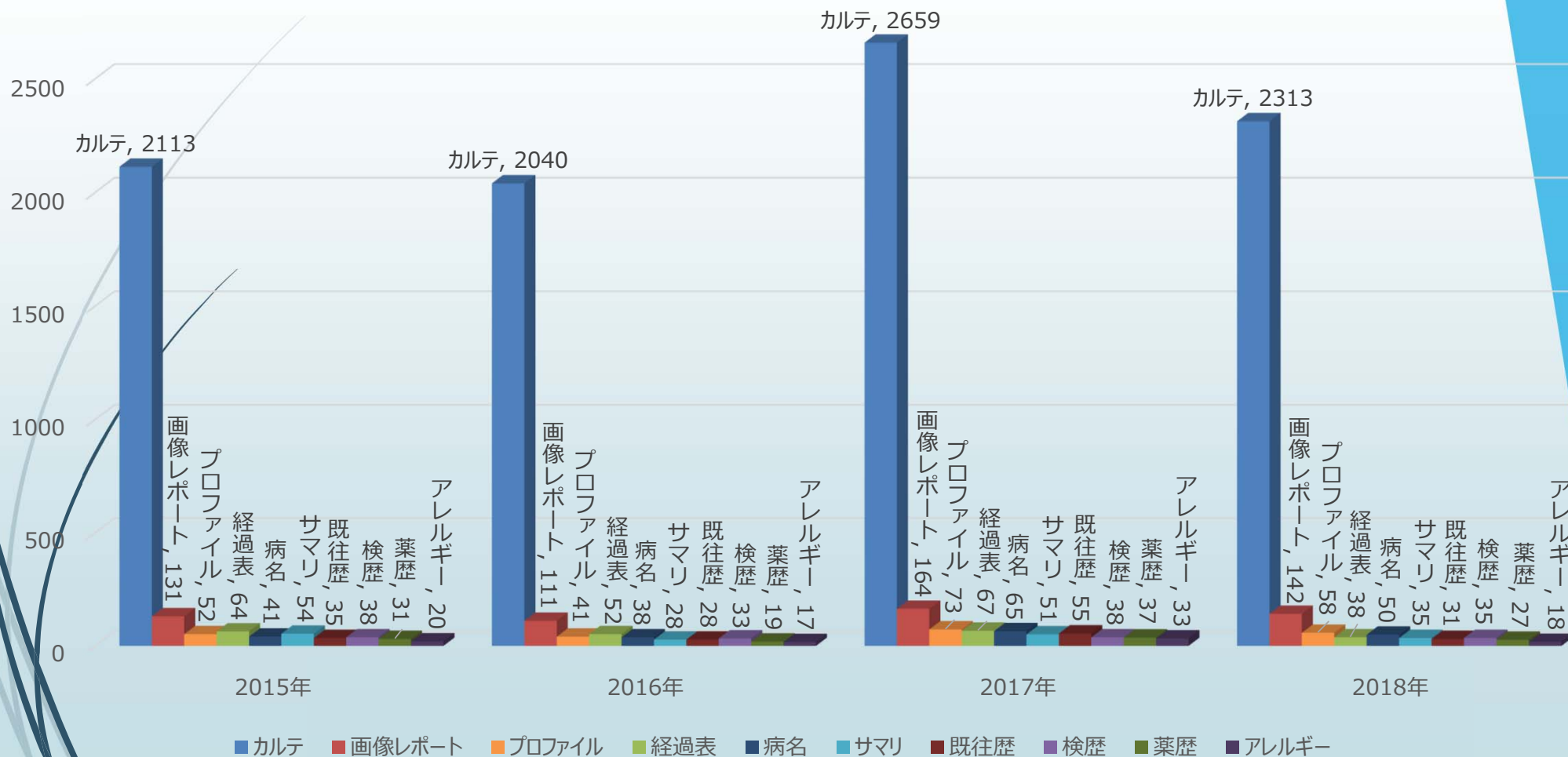
▶ 延べアクセス数：32,034件

■ 加入施設数 ● 月間アクセス数 ○ 月平均



分類別カルテ参照件数 - 年別 -

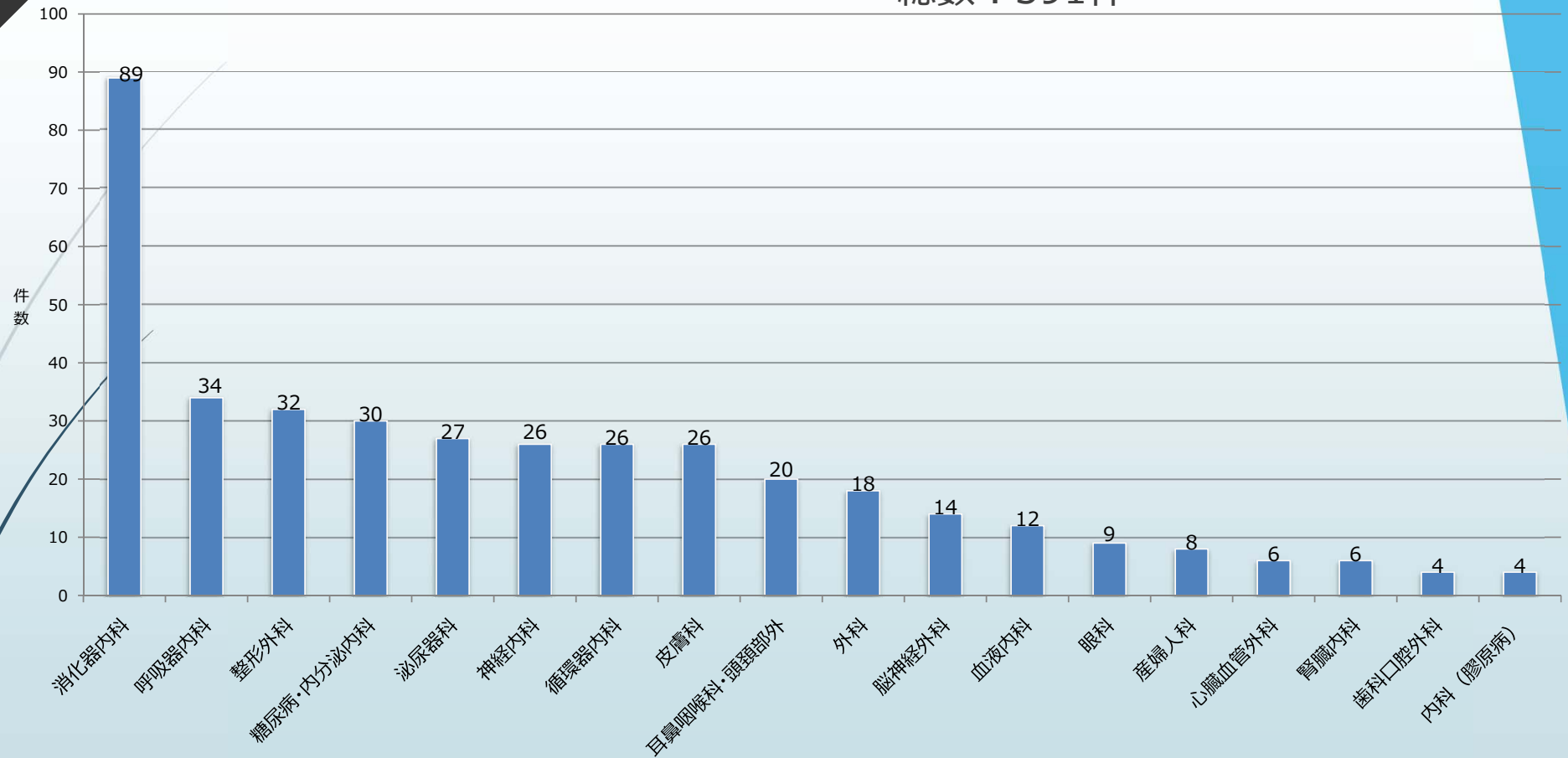
3000



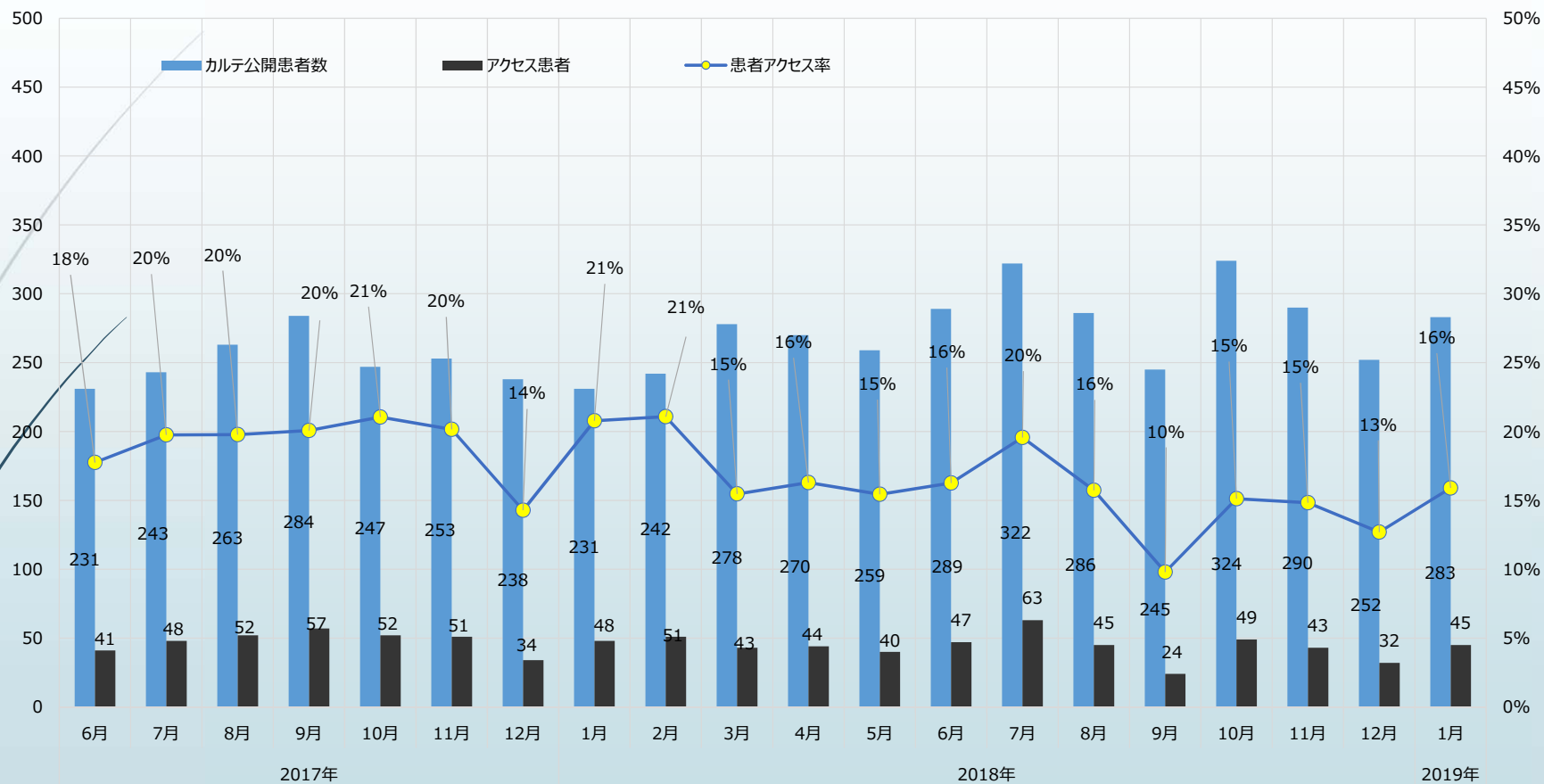
Web予約状況 — 診療科別 —

▶ 期間：2014年10月1日～2019年1月まで

▶ 総数：391件



カルテ公開患者とアクセス患者 - (月単位・公開開始日ベース) -



2. 金鯨メディネット効果

金鯨メディネットの情報共有による一例

- ▶ ○○クリニックより紹介患者
- ▶ 家族は在宅希望であったが、本人の状況変化等を検討し、施設入所方向となった患者。
- ▶ ○○クリニックの医師は事前に金鯨メディネットによる情報を確認し方針変更を把握
- ▶ 共同診療希望で来院するが、主治医が緊急患者対応で連携医と対面ができなかった。
- ▶ 来院時に主治医と直接情報共有はできなかったが、連携医は入院中の患者状況・方針を把握した上で面会した為、本人・家族と連携医との会話では統一した方向で話しがされていた。

調剤薬局との情報共有効果

- 調剤薬局の金鯨メディネットの導入は12施設
- 院外処方では院内処方と違い患者情報が不足の中、処方箋のみから判断し、調剤をしている現状がある
- 金鯨メディネットで患者情報を確認する事で、院内処方と同様に病状把握をした上での処方が可能となる
- 「かかりつけ薬局」「かかりつけ薬剤師」のあり方が議論される中、医薬分業の方向性を示す試みではないかと考える

3. 運用に関する お知らせ

▶ Windows 7 サポート終了

2020年1月14日でサポート終了予定。

サポート終了後は、セキュリティ上の問題で**金鯨メディネットに接続できません。**

Windows 8.1又はWindows 10へ切替が必要。

連携施設様におかれましては、下記が必要です。

1. 切替パソコンのご用意が必要です。
2. 金鯨メディネット接続設定が必要です。

※従来の訪問して接続設定に加えて、リモート操作で接続設定が可能となりました。

▶ リモート操作による金鯨設定

メリット

1. 来訪対応が不要。
2. 電話による簡単な操作で設定・サポートが受けれる。
3. 不具合の問い合わせにスピーディな対応が受けれる。
4. 連携施設側で許可することでリモート操作可能。

連携施設側でいつでも切断が可能。

▶ リモート操作による金続設定

デメリット

1. パソコンで簡単な操作が必要。
2. GoogleChromeリモートデスクトップのインストールが必要。
Googleアカウントの登録が必要。
3. 出来ない場合がある。(プロキシサーバー環境下等)

※上記以外でも、ご不明な点がございましたら、当院 S E 迄お気軽にお問い合わせ下さい。

▶ リモート操作の流れ

1. お渡しする手順書に基づき、Google ChromeとGoogle Chrome
リモート デスクトップのインストール並びにGoogleアカウント
の登録を事前にお願ひします。
2. 当院より設定希望日時を調整します。（設定は約30分程）
3. S Eが当日に電話し、画面の操作を指示します。
4. リモート操作接続中は電話を切ってお待ち下さい。
5. 設定完了後、連絡します。一緒に接続確認をさせて頂き完了です。